

第 66 回破壊靱性検討会 議事録

1. 日 時：平成 27 年 9 月 8 日(火) 13:30～17:10

2. 場 所：電気倶楽部 A会議室

3. 出席者（順不同，敬称略）

○出席委員；平野主査(IHI)，廣田副主査(MHI)，高本(MHPS)，廣川（日立 GE），上坂（東京電力），坂口（関西電力），伊藤（中部電力），辻（富士電機），曾根田（電中研），勝山（JAEA），柘（電源開発），板谷（日本核燃料開発），田中（日本製鋼所）（計 13 名）

○代理出席者；山本（九州電力・野崎代理），藤野（日本原子力発電・中川代理）
宮坂（東芝・柘田代理），松浦（四国電力・秋山代理）（計 4 名）

○常時参加者；佐伯（東芝），西山(JAEA)，大厩（関西電力），富松（MHI），三浦（電中研）（計 5 名）

○欠席委員；半田（JFE），山下（神戸製鋼），佐藤（発電技検），中川（中国電力）
山崎（JANSI）（計 5 名）

○オブザーバ；阪本（MHI），山本（電中研），杉原（NDC），相澤（日本製鋼所）（計 4 名）

○事務局；富澤（日本電気協会）（計 1 名）

4. 配布資料

資料 66-1 委員名簿

資料 66-2 第 65 回破壊靱性検討会 議事録（案）

資料 66-3 日本電気協会「原子炉構造材の監視試験方法(JEAC4201-2007)【2013 年追補版】に関する技術評価書（案）」に関する意見提出用紙及び技術評価書（案）に対するコメントについて（8 月 21 日規制庁提出資料）

資料 66-4 JEAC4206「原子炉圧力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法」に対する公衆審査意見（No. 1～No. 3）

参考資料-1 JEAC4216-201X「フェライト鋼の破壊靱性参照温度 T0 決定のための試験方法」改定案（公衆審査資料）

参考資料-2 JEAC4206「原子炉圧力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法」改定案に関する公衆審査における意見に対する回答案

5. 議 事

(1) 会議定足数の確認

事務局より，出席委員数は代理出席者を含めて 17 名で，検討会決議に必要な条件（委

員総数(23名)の3分の2以上の出席)を満たしていることが確認された。

(2) 前回検討会議事録(案)の確認

事務局より、資料 66-2 により第 65 回破壊靱性検討会の議事録(案)の説明があり、本議事録について委員にメール送付しコメントを反映することで、正式な議事録とすることとなった。

- (3) JEAC4201-2007 (原子炉構造材の監視試験方法「2013 年追補版」)の原子力規制庁における公衆審査資料「技術評価書(案)」のレビュー結果について
オブザーバ参加者、委員より、資料 66-3 に基づき、原子力規制庁における公衆審査資料「技術評価書(案)」のレビュー結果について説明があった。

(主な意見、コメント等)

- ・このコメント以外に各電力事業者から原子力規制庁に公衆審査意見として提出したコメントはあるのか。
→カプセルの取出要求(40年, 50年)について事業者から別途、コメントしている。60年の取出しについてはカプセルが足りなくなること及び長期停止している場合は不必要となるので、運用上と技術的観点から適切ではないとの内容。
- ・公衆審査意見として提出したコメントに対する規制庁からの連絡はあったか。
→未だ連絡が着ていない。連絡が来るのかも分からない。
→本件については、動きがあれば対応を検討することとする。

- (4) JEAC4206-201X「原子炉压力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法」改定案の公衆審査における意見回答案について

主査より資料 66-4 に基づき、公衆審査における意見(3件)があることを説明された後、副主査、委員より、資料 66-4、参考資料-2 及びその添付資料に基づき、意見に対する回答案について説明があった。

検討の結果、附属書 B、C の本文を修正及び解説-RF-4200-2、解説-RF-4222-1 を修正することとなった。

前述の公衆審査版を修正することについて、編集上の修正以外の修正であれば、再度、構造分科会で審議、規格委員会へ諮ることとする。

(5) 今後の予定

- 1) 次回の構造分科会は 11/2 開催予定であるが、JEAC4216 の公衆審査は～10/23 日までであるため公衆審査意見対応は次回以降に実施することとする。
- 2) 構造分科会にかけるうえでは、説明時間が無いこともあり、本日配布の公衆審査回答参考資料は付けないこととするが、説明に必要な場合は、事前に構造分科会委員に送付する等、主査と事前調整する。
- 3) 次回の検討会までに、本日の検討結果を反映した公衆審査版の修正版を作成する。
- 4) 検討会前に PTS WG を開催するが、日時等は別途調整する。

(6) PFM(確率論的破壊力学評価)WG からの検討状況報告について

副主査(WGリーダー)より、午前中に開催したPFM(確率論的破壊力学評価)WGで検討した今後の進め方とWGメンバーについて報告があった。

(7) その他

- 1) 事務局より、JEAC4216-201X「フェライト鋼の破壊靱性参照温度 T0 決定のための試験方法」

改定案の公衆審査実施中(8/24～10/23)の質問意見，資料請求等はきていないことの報告があった。

- 2) 事務局より，本日配布した「JEAC4206 公衆審査意見回答参考資料」については，次回以降の検討会でも活用するため，持参頂きたい旨依頼した。
- 3) 次回（第 67 回）の検討会は 10/22(木) PM に開催することとし，開催場所は別途連絡することとした。

— 以 上 —